



報道関係各位

Coca-Cola

2012年11月15日

札幌市 × 北海道コカ・コーラボトリング(株)

「コカ・コーラ350ml」、「コカ・コーラ ゼロ350ml」

“さっぽろ雪まつりオリジナルデザイン缶”

- 11月19日(月)より北海道全域で発売 -

札幌市(札幌市長:上田文雄)と、北海道コカ・コーラボトリング株式会社(代表取締役社長:矢吹健次)は、2009年1月に締結した「さっぽろまちづくりパートナー協定」に基づき、第64回さっぽろ雪まつりを応援するために、「コカ・コーラ350ml」、「コカ・コーラ ゼロ350ml」の“さっぽろ雪まつりオリジナルデザイン缶”を、11月19日(月)から数量限定で北海道の全域で発売いたします。

今回で4回目となるこのデザイン缶を北海道全域で販売展開することによって、“さっぽろ雪まつり”を道内各地でPRし、お客様が会場に足を運んでいただくことを応援するものです。日頃から、ご愛飲いただいている地元北海道の皆様や観光客の方にも大変ご好評頂いております。

今年のデザインには北海道の象徴的な観光名所である「さっぽろテレビ塔」や「札幌市時計台」、「観光馬車」を用いて、これまでより一層、同イベントを盛り上げるものとなります。

また、例年に引き続き、「さっぽろ雪まつりオリジナルデザイン缶」の売上げの一部を販売数量に応じてさっぽろ雪まつりの運営に寄付することで、札幌市と共にまちづくりを応援します。



コカ・コーラ/コカ・コーラ ゼロ「さっぽろ雪まつりオリジナルデザイン缶」
350ml缶 / メーカー希望小売価格: 120円(消費税込)

同取組みは2009年11月より開始しました。製品売上げの一部を、販売数量に応じてさっぽろ雪まつりの運営の一助とし、さっぽろ雪まつり実行委員会に寄付するもので、2012年3月には 1,631,052円を寄付いたしました。

歴代「さっぽろ雪まつりオリジナルデザイン缶」

<第61回 デザイン>



<第62回 デザイン>



<第63回 デザイン>



当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、責任ある企業市民として、北海道の魅力をさらに高める活動を、継続的に実行してまいります。これからも、次世代を担う子どもたちに、将来の地球の姿を考える場を提供することや、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みを、地元企業として、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

< 本件に関するお問い合わせ先 >
北海道コカ・コーラボトリング株式会社
広報・CSR推進部 広報課 担当：藤井
TEL 011-888-2091

(参考)

「さっぽろまちづくりパートナー協定」

札幌市では市民自治の推進を図るために、幅広い政策分野や事業について、ともにまちづくりを担っていくことを合意できた企業と、包括的な連携協定(名称 さっぽろまちづくりパートナー協定)を締結しています。

(締結日 2009年1月8日)

札幌市と当社は以下の4分野を連携の柱とした協定を締結しました。

- (1) 未来を担う子ども達が健やかに育つまちづくり
- (2) 安心・安全で誰もが健康に暮らせる、人と環境にやさしいまちづくり
- (3) 観光・文化・スポーツの振興を通じた、都市の魅力が輝くまちづくり
- (4) 地域の連携・協働を進めるまちづくり

(同協定に基づいた取り組み)

- ・ 次世代教育の場として札幌市円山動物園内に「nature café EARTH(ネイチャーカフェ アース)」をオープンし、来園者の休憩を楽しんでもらうほか、環境の大切さを感じていただく場として運営。
- ・ 2010年5月より、「YOSAKOIソーラン祭り」を応援するために、「YOSAKOIソーラン祭り コカ・コーラ応援 デザイン缶」を発売し、売上げの一部を継続的に「YOSAKOIソーラン祭り組織委員会」に寄付。
- ・ 2010年9月に、札幌市円山動物園において取り組んでいる「野生動物復元プロジェクト」を応援し、「猛禽類野生復帰施設」の建築費用の一助として1,000万円を同プロジェクトに寄付。
- ・ 2011年6月に、札幌市清田区にある白旗山の森づくりを応援するとともに、円山動物園におけるさらなる環境啓発の展開・充実を目指し、「環境事業に関する協定」を締結。

「環境事業に関する協定」の取り組み

白旗山の26.49ha(札幌ドーム5個分)の面積で札幌市森林組合や市民団体などと連携した森づくり(植樹・間伐)などを展開しています。



植樹活動の様子